

第 213 回 Brown Bag Lunch Seminar のご案内

「住民主体の農文化システム評価」 ～日本の事例から学ぶ農村開発・地域振興～

講師： 濱野 強氏/島根大学研究機構戦略的研究推進センター 准教授
日時： 2015 年 10 月 9 日(金) 12 時 30 分～14 時 (開場 12 時)
場所： FASiD セミナールーム
参加費： 500 円(賛助会員 無料)

農村地域には、社会や環境に適応しながら形作られた伝統的な農業・農法、生産活動とともに育まれた祭礼・慣習が存在し、生態系等との持続可能な関係を基盤とした多様な「農文化」があります。さらに集落のガバナンスや住民同士の関係性を包含した、独創的な「農文化システム」は、今もなお様々な国や地域で継承されています。一方、世界的な都市化が進む現在、地域固有の農文化システムは消滅が危惧され、人口減少や高齢化が加速する日本国内の農村においても、伝統的な農文化は失われつつあります。このような状況の下、地域住民による「農文化システムの総合的評価」を通じ、農文化システムの維持・保全だけでなく、住民自らが地域の特徴や強み、その価値を認識し、地域の課題解決や活性化につなげる取り組みが行われています。

今回のBBLセミナーでは、島根大学研究機構戦略的研究推進センター准教授の濱野強氏を講師にお招きし、中山間地域での事例を基に農文化システム評価の概要とその成果、地域振興や活性化に向けた活用の可能性についてお話いただきます。

途上国での一村一品事業や地域資源を活用した地域振興、観光開発、あるいは日本国内での地域おこし事業を考える上で、多くの示唆がある農文化システム評価のエッセンスを学ぶことができます

■講師略歴：

厚生労働省国立保健医療科学院経営科学部、新潟医療福祉大学社会福祉学部等を経て、2008 年 10 月より島根大学に赴任し、地域の健康づくりや課題解決に携わる。現在は、中山間地域の自治体との共同研究を進める中で、限られた資源をどのように捉え、住民主体の活動をいかに進めていくかという視点で研究に従事。

参加ご希望の方は 10 月 8 日(木)12 時までに、URL 内のオンラインフォームよりお申し込み下さい。会場の都合でご出席頂けない場合のみ、事務局よりご連絡いたします。

尚、昼食は各自ご持参下さい。

■関連 URL: http://www.fasid.or.jp/seminar_info/96_list_detail.html

お問い合わせ先

一般財団法人国際開発機構(FASiD) 国際開発研究センター 担当: 浜岡/原田
〒106-0041 港区麻布台 2-4-5 メソニック 39MT ビル 6 階 最寄駅: 地下鉄神谷町、赤羽橋
Tel: 03-6809-1997 Fax: 03-6809-1387 Email: bbls@fasid.or.jp
地図: http://www.fasid.or.jp/about/8_index_detail.shtml